

新田平見道

和深の舟並漁港から東に上り詰めたところから左立谷に降り旧県道に交わるまでの227mの区間が登録されました。この区間の石畳は、当初30m程度と思われていましたが、近年の整備で腐葉土の下から掘り起こされ、総延長70mにもなることが明らかになりました。



富山平見道

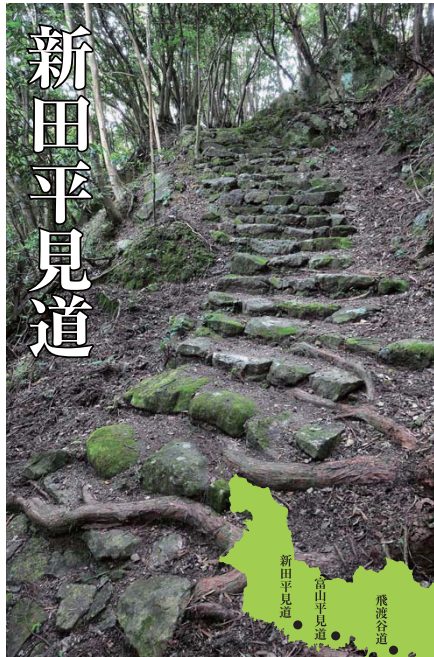
田子の坂本造船所の裏にある谷川の橋を渡るとすぐに石段の道が表れます。石段は幅2mで50段以上あり、大辺路随一の規模を誇ります。214mの区間が登録されました。石段の一部にはキクメイシ(サンゴ)が使用されており、大辺路ならではの見どころです。



清水峠

田原と浦神の境界に昭和2年建立の「口熊野奥熊野境界址」から樺杭の谷に入って浦神に抜ける道が清水峠です。約2kmほどの区間が登録されました。古座川弧状岩脈の延長である火成岩脈の峰に挟まれた谷を上っていくと、「右上田原左大へち」と刻まれた振り分け石があります。

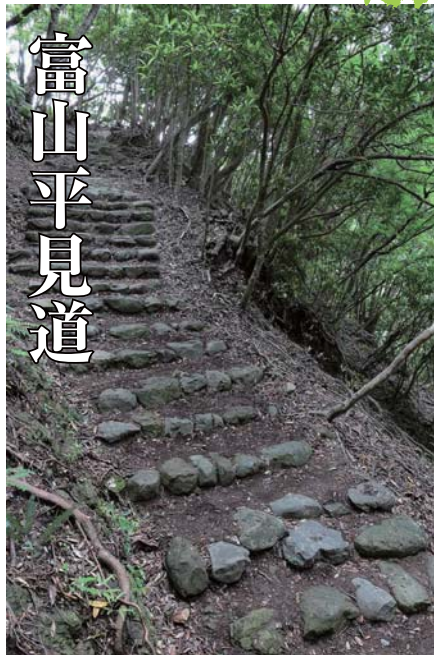
新田平見道



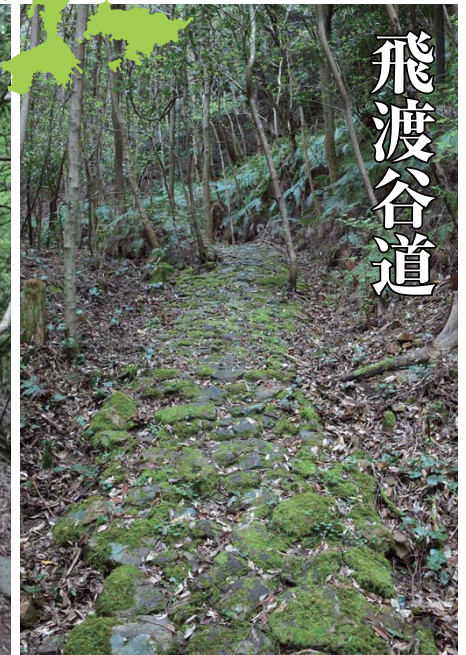
清水峠



富山平見道



飛渡谷道



飛渡谷道

田並から有田の旧国道沿いの飛渡谷を通る387mの区間が登録されました。苔むした石畳道が残され、古道の雰囲気を感じ出しています。旧道から降りていくと杉木立の中を谷川に沿って道が続き、上り坂に差し掛かると照葉樹林と30mほどの石畳道があります。